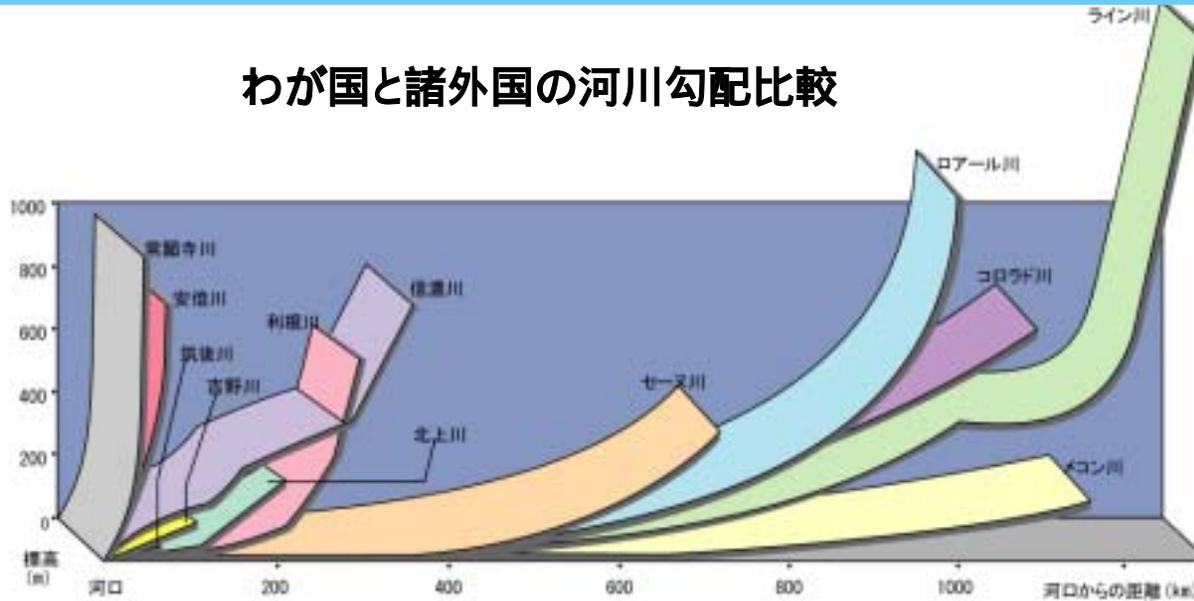


治水・利水等の必要性とダム事業の役割、効果 説明資料

平成14年9月

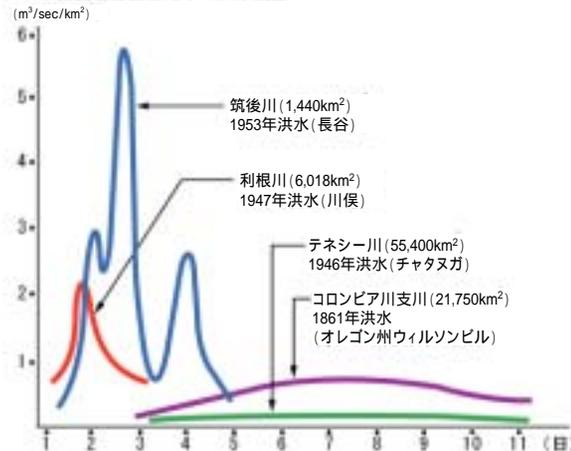
我が国の急峻な地形では一度大雨が降ると 河川に水が一気に流れ出し、洪水が発生

わが国と諸外国の河川勾配比較



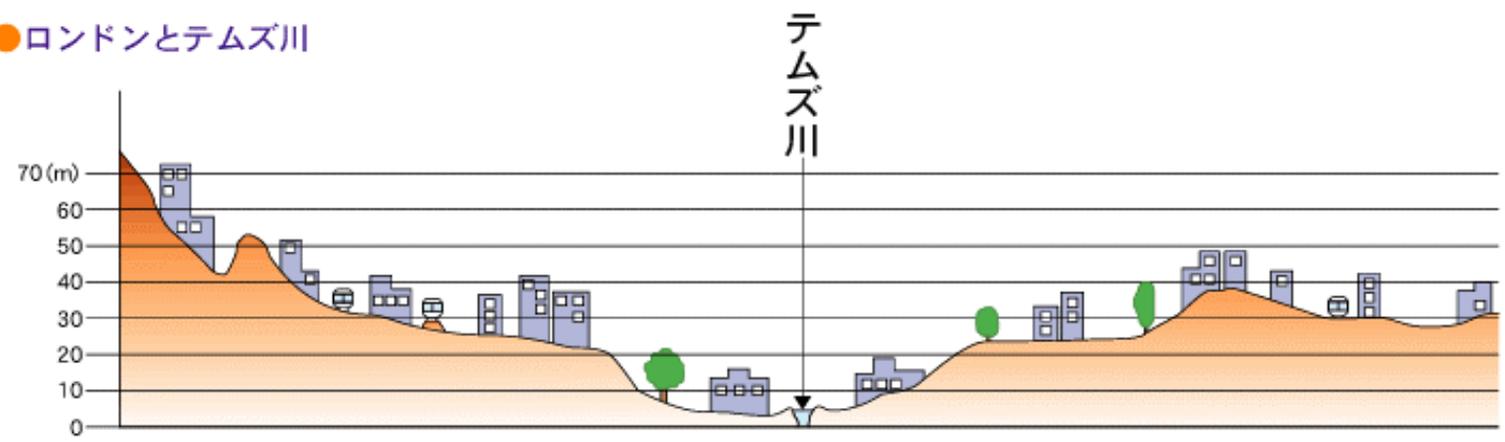
日本の洪水は短距離ランナー型

洪水の継続時間と
単位流域面積あたりの洪水流量

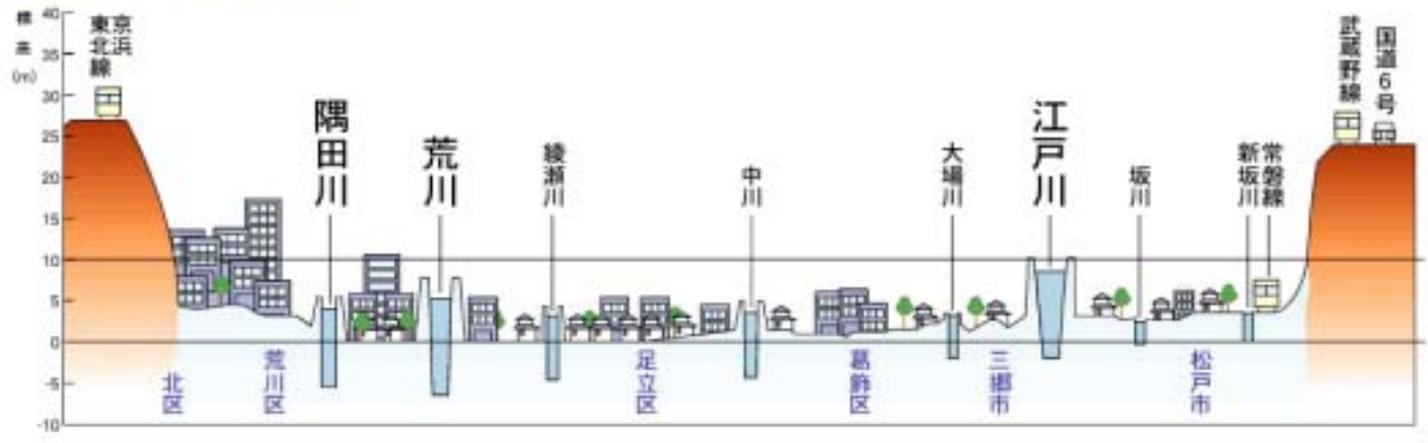


我が国の主要都市は、洪水時の河川水位よりも低い沖積平野に発達しており、洪水の被害を受けやすい

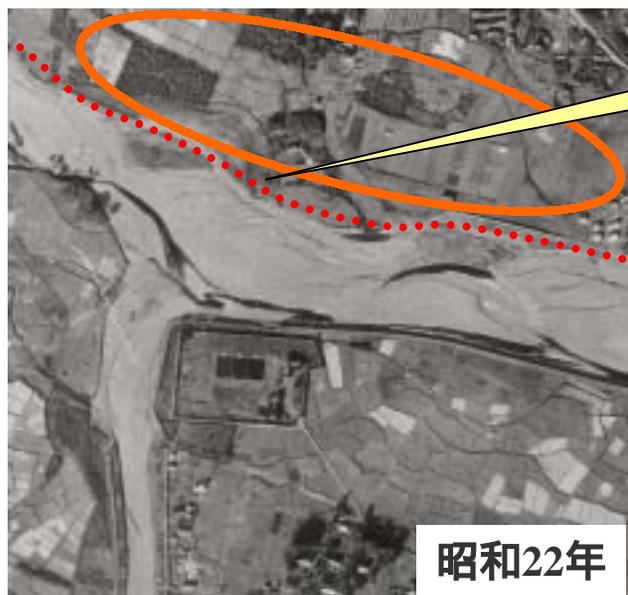
● ロンドンとテムズ川



● 東京と江戸川・荒川・隅田川



堤防整備等の治水対策により、狭い国土に利用可能な土地を創出



堤防未整備

昭和22年

堤防の整備



堤防整備済

昭和36年



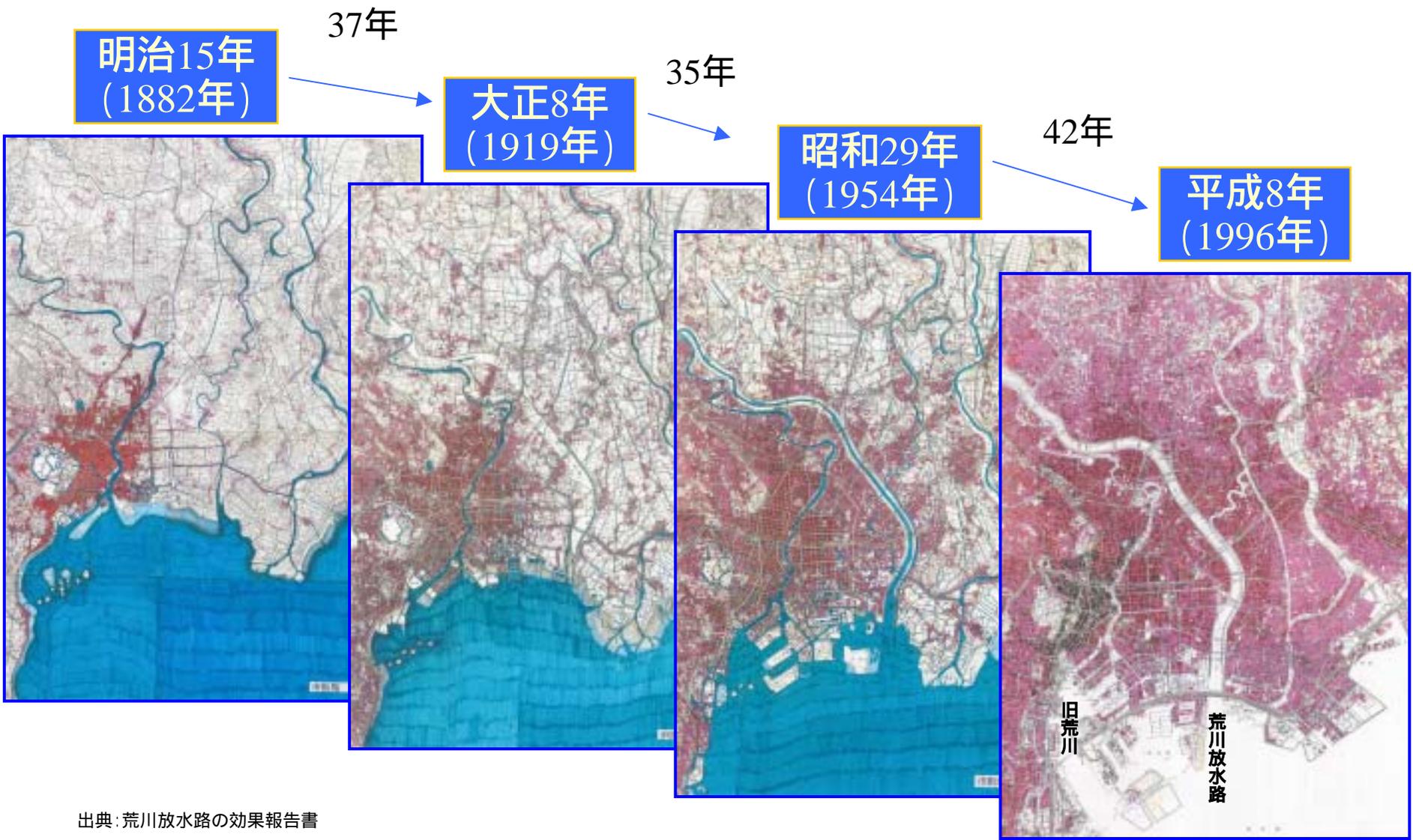
平成9年

〔多摩川水系浅川〕
：八王子市



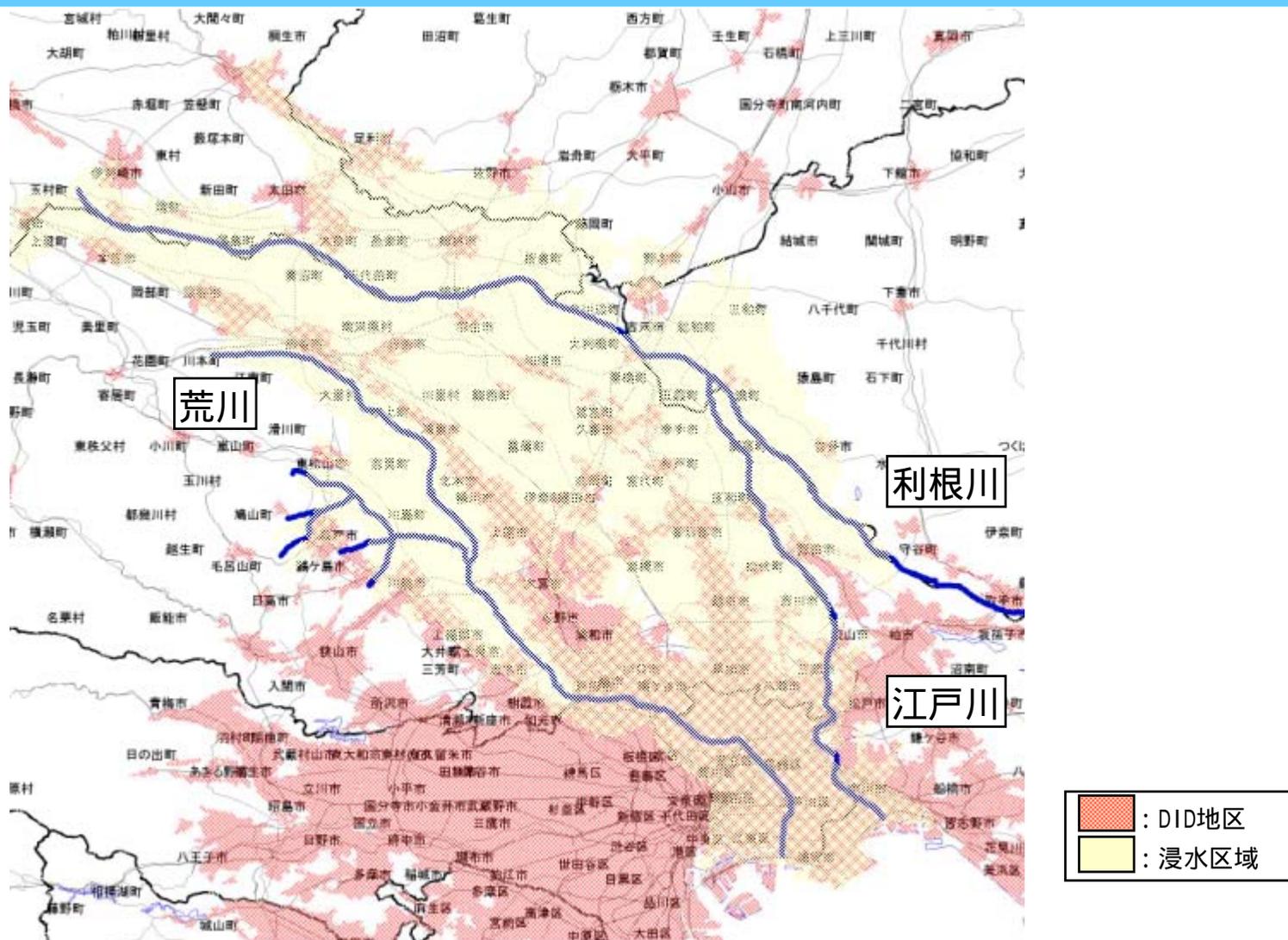
昭和54年

荒川放水路(1931年(昭和6年)完成)等の河川改修の進展により、隅田川周辺の洪水被害を軽減し、戦後の住宅等の需要に応えた



出典:荒川放水路の効果報告書

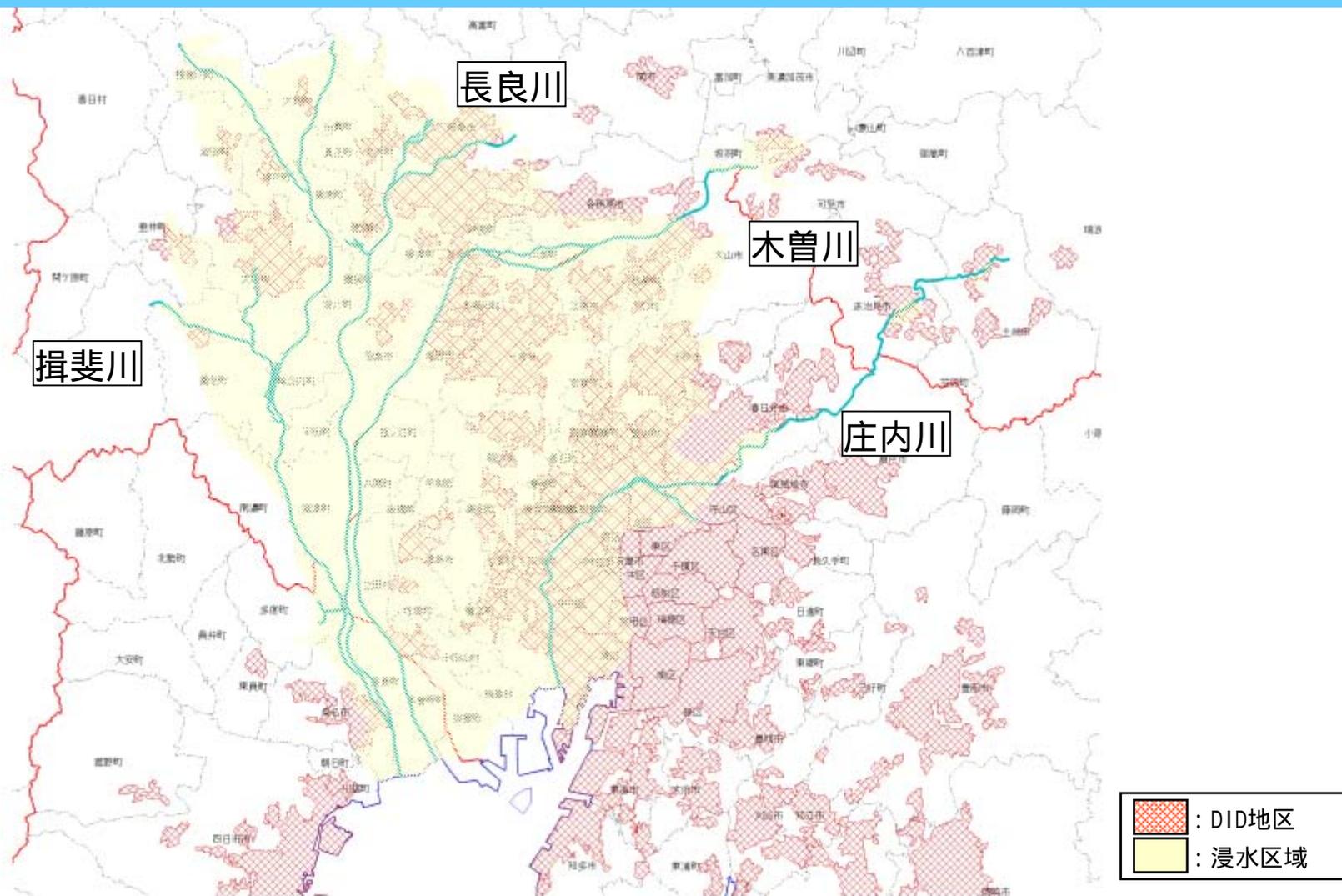
氾濫が想定される区域に広がる人口集中地区 (利根川、荒川の主要区間)



DID: 人口集中地区。市町村の境界内で人口密度の高い基本単位区 (約4,000人/km²以上)が隣接して、それらの人口が5,000人以上となる地域。

資料：平成3年防御対象氾濫区域図より作成

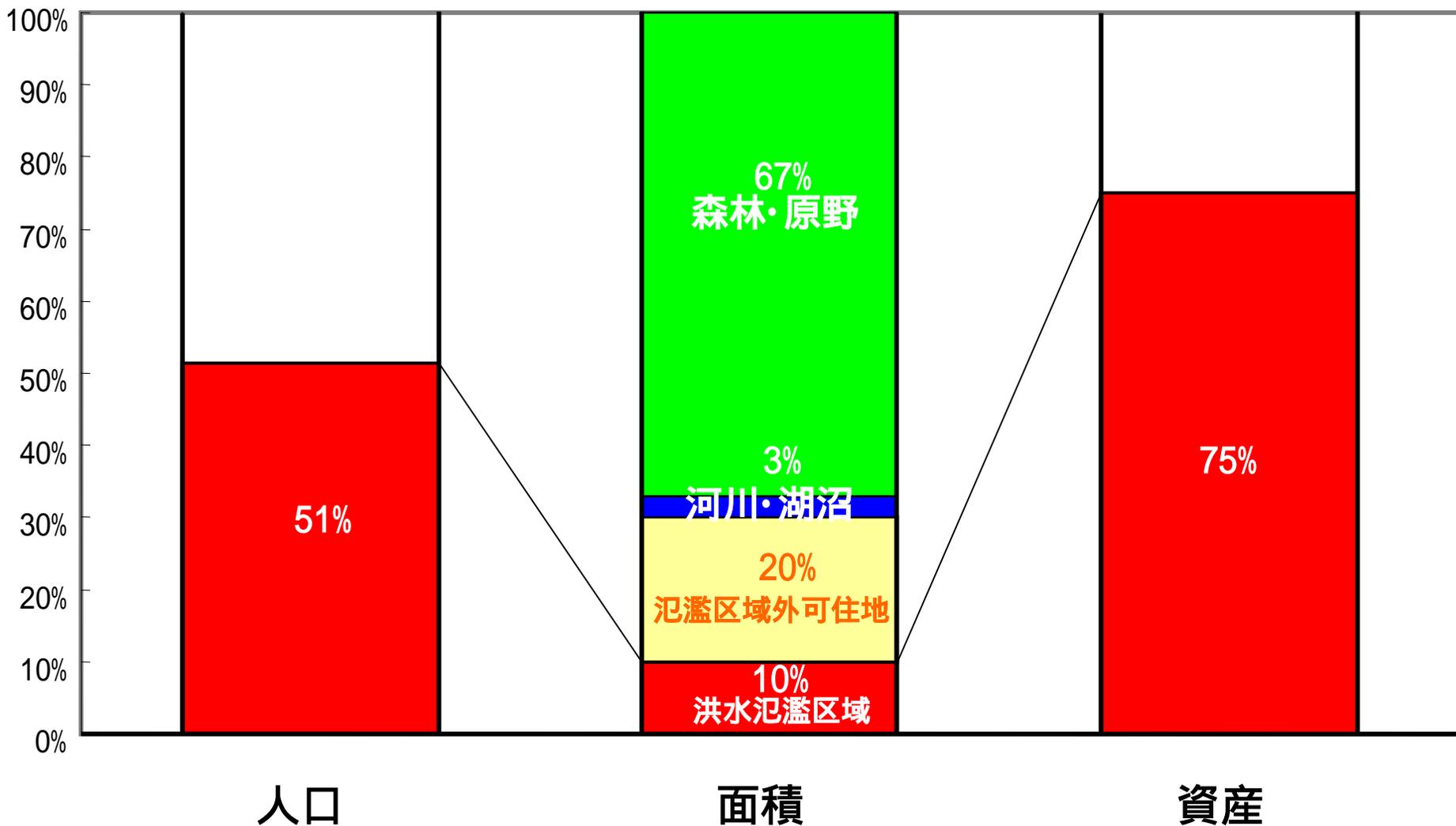
氾濫が想定される区域に広がる人口集中地区 (木曽三川、庄内川の主要区間)



DID: 人口集中地区。市町村の境界内で人口密度の高い基本単位区 (約4,000人/km²以上)が隣接して、それらの人口が5,000人以上となる地域。

資料: 平成3年防御対象氾濫区域図より作成

我が国の人口の51%、資産の75%は
洪水氾濫区域(国土面積の10%)に集中



過去10年間に、日本全国の約3割の市町村で 水害が発生

最近10年の全国の水害の発生した市町村(1991年(平成3年)～2000年(平成12年))

